

相馬
ゆうこの

南千住レポート

まちづくり・
くらしの情報
を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎3802-4627

FAX:3806-9246/メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX:3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
ツイッター @m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp

もう限界 年金減少、介護保険料2.2倍

2000年に介護保険制度が始まってから、荒川区の保険料基準額は当初「第1期」の月額2,963円→現在「第8期」は6,480円、22年間で約2.2倍に（下図）。この間、65歳以上の方は年金が減って医療費が上がり、働く人の給与は上がらないままです。保険料の値上げはもう限界ではないでしょうか。

荒川区の
介護保険料
推移

区も「早晚、区民の皆さんも保険料の負担に耐

えられない時期はやってくるだろうと率直に思っています。…かなり危機的な状況もある」と認めざるをえない状況です。

第1期(2000~02)	2,963
第2期(2003~05)	3,244
第3期(2006~08)	4,428
第4期(2009~11)	4,613
第5期(2012~14)	5,792
第6期(2015~17)	5,662
第7期(2018~20)	5,980
現在 第8期(2021~23)	6,480

	厚生年金	国民年金
2000年	17万5865円	5万0918円
2019年	14万4268円	5万5946円
差額	▲3万1597円	5028円

3年
年金は
3万円も減少必要な介護確保へ
国の負担割合拡充を

介護保険制度はサービスの利用をふやしたり介護職の賃金を上げようとすると、保険料や利用料に跳ね返るという問題を抱えています。保険料・利用料負担を抑えながら制度を充実するには、公費負担の割合を大幅に増やす以外に、多くの自治体から、国の負担引き上げを求める意見書が上がっています。

介護保険制度は

緊急通報システムは、年齢に関わらず希望者が使えるように

紙おむつ購入費助成の所得制限をなくして、要介護度に関わらず使えるように

独自に
介護サ
ービス
をス

日常生活用具の給付に、リハビリシューズなども対象に

【介護給付費の負担割合】

	保険料負担(50%)		公費負担(50%)		
	第1号	第2号	国	都	区
居宅等	← 23% →	← 27% →	← 25% →	12.5%	12.5%
施設等	← 23% →	← 27% →	← 20% →	17.5%	12.5%

※第1号被保険者…65歳以上
第2号被保険者…40~64歳

現在「第9期」プラン策定に向け区の調査・検討がすすんでいます。これ以上の介護保険料の値上げをやめ、利用料負担やサービス削減ではなく、必要な介護確保のためにも、国庫負担の引き上げこそ必要です。荒川区として声をあげてほしい。

区議会本会議～くらし支援、保育環境整備を



24・25日の区議会本会議で、日本共産党区議団から小林・小島区議と私も質問を行いました。質問の一部と答弁要旨をご紹介します。

区民のくらしを支える 緊急対策を

- ・低所得世帯へ暖房費等の支援を
- ・生活困窮した方の相談窓口は年末年始も開設を

【答弁】国の給付金に暖房費の補てんも含まれており、迅速に支給する。長期の閉庁期間には引き続き緊急対応のみに努める。

子ども1人1万円給付は、児童手当を受給する子どもだけでなく、高校生等にも支給を

【答弁】早急に給付する必要があるため、児童手当の仕組みを活用した。引き続き子育て世帯への支援を行う。



区内中小事業者に
独自の支援金を

【答弁】
国との役割
分担のなか
で、独自の支援金を
支給する予定はない。



区の答弁は消極的で残念。支援を迅速に行うことはもちろん、くらしを支える積極的な施策拡充・強化を今後も求めます。みなさんのご意見もお寄せください。

安心安全な 保育環境の整備を

全国で子どもが車内に置き去りにされる事故が相次いでいます。子どもの安全が守られない最大の原因は、国の保育士配置基準が低すぎることではないでしょうか。早急な改善と、現状では区の独自策が必要です。



また、区内の保育園でハラスメントがあったことが明らかになっており、区の対策を求めました。

公立・私立ともに必要な保育士の加配ができるよう、体制整備と現場への支援を

【答弁】現場の保育士が安心して保育を行える環境整備が重要。すでに手厚い支援を行っている。

保育士のためのハラスメント
相談窓口の設置を

【答弁】ハラスメントがある場合は、早急な改善が重要。環境整備と保育の質向上に努める。

子ども：保育士

0歳児	3:1
1歳児	6:1
2歳児	6:1
3歳児	20:1
4歳児	30:1
5歳児	30:1

〈法律・生活相談〉

12月の定例法律相談日は 8日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第二木曜午後6時からですが、平日の午後に法律事務所（北千住）でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

「スポーツセンターの駐輪場、もっと使いやすく」



ご意見頂きました。「スポーツセンターの駐輪場の一部に、前輪を入れるラックがあるんですが、ラック間の幅が狭くて使いづらいです。どうにかならないでしょうか？」



正面入口前の駐輪場

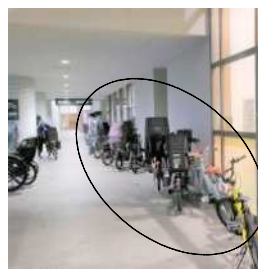
総合スポーツセンターは大規模改修を終え、2020年にリニューアルオープン。駐輪場は正面入口前と南千住野球場側の通路に設置されていますが、使いやすさから入口前はすぐに埋まってしまう。野球場側は手前はスペースのみ、奥側に高低差をつけたラックが設置されています。



野球場側のラック



ラック間の幅を測ってみると一般の駐輪場より7～8cm程度狭いようで、自転車が入っているとこんな感じです(←)。この隙間にもう1台入れるのは確かに難しそう。一般の駐輪場でも高い方のラックは自転車を持ち上げるのが大変で入れにくいことが多く、あまり使われていないのが実際です。使いにくさからか、ラックが空いていても駐輪スペースではない部分に停めている自転車も(→)。



ラックはボルトで留められているので、移動して幅を調整するか、撤去して平面化、白線を引くなど、改善方法の検討を担当課に相談しています。

荒川スポセンフェスティバル

年明けの1月5・6日に開催！子ども

オリンピックが教えてくれる
渡邊高博さんによる「かけっこ教室」

時間・対象/
① 9:00～10:10 (小学1～2年生)
② 10:25～11:35 (小学3～6年生)

場所/2F大体育室

定員/各50名

参加費/1,200円

1/5(木)

パラリンピアンが教えてくれる

森下友紀さんによるトークショー&水泳教室

時間・対象/
① トークショー 9:30～10:00 (どなたでも)

② 水泳教室 10:30～11:30 (25m泳げる方)

場所/①1Fイベントホール ②1F大プール

定員/①なし②20名

参加費/①②ともに無料

1/6(金)

向けのトランポリンやキックバイクパークも。申し込みは12月12日～スポーツセンターHPをご覧ください。



「街なかに落書き…対策は？」

メール頂きました。「最近、スプレーによる落書きをあちこちで見かけます。南千住4丁目交差点(ファミマ前)の電線共同溝、リバーハープ公園東側の斜路の石面部分など…街の治安維持の観点からも放置せず対策を」



リバーハープ公園

ひとまず落書きを消すよう担当課に要望しました。引き続き、各場所に合わせた対策として、共同溝は落書き防止塗料を塗ることや地元と連携して壁画を作成することも検討してみたい。落書きを放置するとゴミのポイ捨てがふえるなど二次被害も心配されます。いちごっこにならないような知恵だしも相談したい。



ドナウ通りの共同溝

性暴力を生まない、身を守る～「包括的性教育」の実施を

24日の本会議で、「区立小中学校で包括的性教育の実施を」と求めました。

なぜ？学習内容 日本では過去の性教育バッシング(※)などから、学習指導要領で「はどめ規定」が設けられ、学習内容が制限されています。小学校の理科で「人の受精に至る過程は取り扱わない」、中学校の保健体育で「妊娠の経過は取り扱わない」、高校の保健体育で「男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする」などとされています。

★学習指導要領の「はどめ規定」

小学校	理科	「人の受精に至る過程は取り扱わない」
中学校	保健体育	「妊娠の経過は取り扱わない」
高等学校	保健体育	「男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする」



※性教育バッシング…

1990年代に統一協会が教義の「新純潔宣言」を政治に持ち込み、世界で定式とされる「からだの権利」「相互同意」としての性教育が、国会、都議会で攻撃されました。統一協会との癒着が、自民党がいまだに夫婦別性やジェンダー平等に踏み出せない大きな原因のようです。

正しい知識 公教育で

今年6月、内閣府が16～24歳を対象に、性暴力被害に関する初の実態調査を実施。回答した6,224人のうち1,644人(26.4%)、約4人に1人が「何らかの性暴力被害にあったことがある」と回答し、深刻な実態です。インターネットで性の情報に簡単にアクセスできる世の中で、子どもたちに正確な情報を伝える必要があります。専門家からも「正しい知識を得られる公的な教育機会の確保が必要」と指摘されています。



子どもをまもる 社会全体の取り組みに

世界では、2009年にユネスコが中心となって「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を作成。身体や生殖の仕組みだけでなく「健康と福祉、人権の尊重、男女平等を促進する総合的なセクシュアリティ教育」(包括的性教育)を提唱。夫婦・恋人でも同意のない行為は許されない、「からだの権利」を子どものころからきちんと身に着け、性暴力を生む環境を取り除く「包括的性教育」の実施と地域づくりを区に求めました。



ユネスコの「ガイダンス」

区は「学習指導要領に基づいて授業を実施、性教育の指導を推進する」と答弁。子どもたちが自分のからだもひとのからだも大切にできるよう、一歩も二歩も進んだ取り組みが必要。子どもや若者だけの問題ではなく、わたしたち大人を含めた社会全体の問題です。

ご意見・ご質問頂きました ○ご質問が「区議会だよりで各議員の報酬額、政務活動費について報告してほしい。議員としての働きはどうなっているの」…荒川区の月額報酬は、議長91万7千円、副議長78万4千円、委員長65万2千円、副委員長62万4千円、議員60万2千円です。ここから保険料など支払い、手取りは(人にもよりますが)7～8割くらい。政務活動費は1人月8万円で23区でダントツに低く、これは色々議論があった末のようです。(調べてレポートに載せてみようかな)わが区議団は、調査費用、事務機器と毎週のレポート発行などで事実上持ち出しに。

